

みぞくちミニ新聞

発行元
みぞくち

購読無料
毎月発行

この夏最後の涼を求めて

渋川海岸へ余暇

9月15日、暑かった夏の終わり、最後の涼を求めて渋川海岸への余暇外出。その日は土曜日、厨房特製のお弁当を持って、生活グループの皆さんは車に乗り込む。あいにくの曇り空、今にも雨が落ちてきそう。お弁当をどこで食べるか悩ましい。途中の倉敷中山公園でトイレ休憩。そしてシンキングタイム。小さな雨粒が額をたたく。渋川海岸での昼食は断念。渋川海岸に隣接する王子が岳(瀬戸内海国立公園に指定されている標高235mのちよつとした小高い山)の展望台で

昼食を摂る事とした。案の定貸切状態。皆さんも馴染みの場所だ。お弁当を開いて舌鼓。その後せつかくなので渋川海岸へ立ち寄る。涼を味わうことは出来なかつたが、のんびりとした良い一日が過ごせた。

新たな屋内作業断念

仕事は難しい

8月から新たな作業に組み始めた就労グループ。主に100均の製品で、ズボン干し用ハンガーの組立、学習材料の腸の型折、ラップケースの組立、等々。

なかなか色々な作業に取り組んでみた。意外と簡単そうに見える作業も、細かな部分まできっちりしなければならぬ。利用者の皆さんも新しい作業のやり方が

次第に身につけてきた。だが、納品の際には最終的に細かな部分まで正確な確認を必要とされた。こうしてみると、一つ一つの作業工程が出来たと思えていて

猿かに合戦

今月の貼り絵

毎月、食堂には新しいカレンダーが飾られる。生活グループの創作活動の作品だ。9月時点で製作しているものは10月のカレンダー。基本は貼り絵で製作する。大きな模造紙に下絵を描き、その上に利用者の皆さんがカラフルな色紙をちぎって貼っていく。

10月の作品は猿かに合戦がモチーフだ。利用者の皆さんは手慣れたもの。あつちこつちとすいすい貼って

くれる。ただ、油断していると猿の顔が青かったり、カニの甲羅が緑だったり、ちよつと個性的すぎてしまう。これも一つの味である。

そして、貼り絵の下書きは職員日野浦さんの手書き。なかなかの傑作だ。やはり美的センスと感性が豊かな方は、猿かに合戦の猿の顔も優しく見える。こうやって毎月新しいカレンダーがみんなの気持ちを豊かにしている。

も、最後の確認でははじかれてしまう物が多かった。また、型折ではおり方の正確さや折る方向など思いもよらない間違いもあった。最終的に職員で微調整をすることは当たり前だが、多くの部分でその調整が必要となった。職員も試行錯誤し、作業がしやすい工夫をあれこれと提案し実践したが、思うようにはいかなかった。

た。これ以上新しい作業を続ける事は、相手の企業さんへ迷惑がかかる事も懸念されたため、結局これらの作業は断念する事となった。新しい作業を見つけた事は、とてつもなく難しい事を改めて実感した。現在の屋内作業は主に軍手作業が中心となっている。また、新たな作業を求めてチャレンジしてほしい。